

環境影響評価審査書に対する事業者の主な対応

052	（仮称）東京航空計器株式会社大井研究所建設事業	
項目	審査書の指摘事項	事業者の対応
廃棄物 （一般廃棄物）	伐採樹木の発生量を明らかにするとともに、省資源、大気汚染防止等の観点から極力焼却処分は避け、有効利用すること。	伐採対象樹木は、移植、チップ材、椎茸材、防災工材として出来る限り有効利用することから、焼却処分は取りやめる。
文化財	実施区域周辺は埋蔵文化財が豊富なことで知られているため、事業実施に当たっては慎重かつ綿密な調査を行うこと。なお、調査の結果、埋蔵文化財が発見された場合には、保存方法について関係機関と十分協議し適切な措置を採ること。	神奈川県教育委員会及び大井町による現地調査の結果、実施区域内には埋蔵文化財が存在する可能性は少なく、試掘の必要性はないと判断された。 なお、工事に際しては細心の注意を払い、工事中に埋蔵文化財が発見された場合は、速やかに関係機関と協議を行い、適切な措置を講じる。
景観	建築物の建設に当たっては、周辺の緑との調和に配慮し、建築物のデザイン及び効果的な緑化計画を検討すること。	周辺の緑との調和及び現況地形を考慮し、緑豊かな景観と調和するよう建物の高さ、配置に配慮するとともに建築物のデザインについても外壁及び傾斜屋根の色、外壁の材料等について配慮する。さらに、第4研究棟を4m程度セットバックさせ、足柄平野に面する施設内復元緑地を広げ、クヌギ・コナラ等の中高木の生育環境を確保し、樹木の生育を促すことにより、建物の可視部分の減少に努める。
その他	<p>(1) 雨水排水計画について 雨水の集水方法等を明らかにしたうえで、雨水の流出防止対策に万全を期すること。</p> <p>(2) 地震対策について 大磯丘陵西部には、活断層（国府津・松田断層）が存在するため、地質構造について綿密な調査を行うとともに、高圧ガスあるいは危険物等の貯蔵及び配管に当たっては、地震時の安全が確保されるよう十分配慮すること。また、調査の結果、断層の存在が確認された場合には、施設の配置計画等の見直しを含め、地震に対する安全対策を再検討すること。</p> <p>(3) 工事中の対策について 実施区域に隣接して、エバラ食品総合研究開発センター建設事業が同時期に予定されているため、両事業の建設機械による騒音の発生や工事用車両の運行に伴う工事の影響を極力低減するための対策を検討すること。 また、造成工事中に水質測定を実施し、結果によっては、さらに濁水流出防止対策について検討すること。</p>	<p>(1) 雨水排水計画について 確率年10年までの降雨は排水管にて適正に調整池へ集水し、確率年10年を超える降雨に対しては、小堰提（高さ30cm）、横断側溝を適所に設け、雨水を適正に調整池に集水する。</p> <p>(2) 地震対策について 切土工事終了後には実施区域の地質構造について露頭調査を行い、万一、建物等の施設に影響を与えるおそれのある断層が見つかった場合は、危険物屋内貯蔵所等の配置換えなど適切な対策を行う。 さらに、万一の地震に配慮し、以下に示す対策を行う。 ・LPGボンベ庫及び高圧ガスボンベ庫はチェーンの設置等転倒防止対策及びフレキシブル継手の使用により配管の破損防止に努める。 ・危険物屋内貯蔵所及び有機溶剤保管庫は床の防水施工及び油溜りの設置等を行う。 ・LPGボンベ等には緊急遮断弁を設置する。</p> <p>(3) 工事中の対策について 両事業者間で連絡協議会を組織し、苦情等に対する窓口の一本化、工事車両の運行時間帯の集中排除、境界付近での工事の調整、交通安全対策等について定期的に協議する。 また、工事中は定期的に水質を監視し、処理水濁度が基準を上回った場合は、凝集沈殿剤の添加量を増やす等の濁水対策を行う。</p>